

**川崎市議会** 2021年(令和3年) 第2回定例会(6月議会)一般質問

6月22日に行われた川崎市議会第2回定例会の一般質問で山田議員は、市民の関心の高い「風水害対策」「水道管の耐震化」「市営住宅の浴室設備」「母子健康手帳」の4項目について質問をいたしました。



**激甚化・頻発化する風水害に備え**

**気象防災アドバイザーを提案**

▶近年、各地で頻発・激甚化する台風や線状降水帯等の気象災害に対し、山田議員は市民の命を守るため気象防災アドバイザーの導入を提案。気象防災の専門的知見を活かした事前準備や、ハザードマップ(災害予測地図)の実戦的活用、さらには避難行動の判断などに繋げる必要があると主張しました。市は、従来の気象庁横浜地方気象台等との連携に加え、気象防災アドバイザーの活用について検討すると回答しました。



**入居者負担を軽減**

**公費で浴室設備を実現**

▶平成21年6月議会に山田議員は、浴室設備のない市営住宅が約1万1,000戸あり、入居者の負担で設置されている実態を指摘、市営住宅の風呂釜・浴槽等を公費で設置するよう提案しました。市は、平成23年4月より公費での設置を開始し本年4月1日までに約10,400戸を公費で設置、管理戸数全体の約60%となったと回答しました。

**浴室環境を改善**

▶さらに、新築住戸でのユニットバスを長寿命化工事でも活用できないか、「浴室を広く、浴槽も深くならないよう」質しました。市は、新築住戸のユニットバスは、市の定める高齢者対応型仕様とし、長寿命化工事等では、できるだけ給湯設備を屋外に設置し浴室内を広く使用できる工夫をしたいと回答しました。

- ①新築住戸ユニットバス
- ②従来の住戸 バランス釜と浴槽
- ③給湯設備を屋外設置

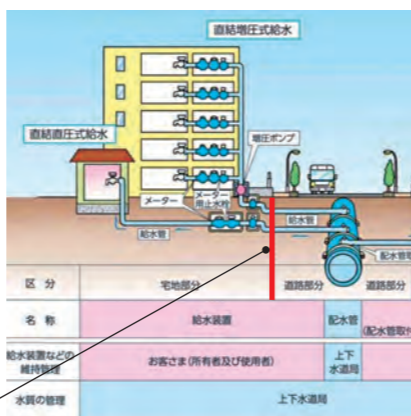


**万全な給水体制で給水拠点のさらなる拡充を**

▶平成18年12月議会で切迫する大規模地震等に備え、山田議員は本市水道管の耐震化について学校や病院等を優先して整備すべきと提案。市は、令和4年度までに全市立学校や病院等の整備を完了します。そこで、次期計画に県立学校や社会福祉施設、ターミナル駅、ごみ処理センター等の整備を提案。市は指摘を踏まえ地域防災計画等で検討すると回答しました。

**学校の直結給水と耐震化を促進**

▶また、山田議員は、これまでの耐震化が公私境界線付近の第1バブルまでであり、安定給水には教育委員会所管の給水管の耐震化が不可欠と指摘。市教委は、安心安全な給水のため直結給水化と共に耐震化を進めると回答しました。



**母子健康手帳を拡充**

**便色カード導入から10年(川崎市から全国へ)**

▶平成22年決算審査特別委員会で山田議員は、難病のお子さんをもつお母さん方からの相談を取上げ、胆道閉鎖症等、生後1ヶ月前後に便色の異常を呈する疾患の早期発見のため母子健康手帳1ヶ月検診の新生児の便色に関する情報を文字記載からカラーカードにするよう提案。市は翌23年6月に、便色カードを導入。その後、同年8月、国立成育医療研究センター院長松井陽先生と陳情者等と共に、わが党古屋範子衆議院議員と国に陳情、24年度の「10年に1度の母子健康手帳の改正」に合わせ全国一斉に便色カード導入を実現させました。



**子育てアプリの活用を**

▶また、山田議員は、母子健康手帳が子どもの成長を綴った貴重な記録ノートであり、紙面の拡充を求めてきました。そこで、本年3月にリニューアルした本市子育てアプリの成長記録等の活用について提案。市は、本アプリの「できたよ記念日機能」が、成長の過程を写真やコメントで記録することができるようになっており、思い出に残る写真を印刷し母子健康手帳に貼付する事が出来るよう活用についてホームページや妊娠届け時のチラシ、SNSを活用して普及に努めたいと回答しました。



**●●晴ればれレポート●●**

**ご存知ですか? 市のこんなサービスを! 思い出の記念樹 / 樹繋ぎづな**

あなたや、あなたの家族の大切な思い出を樹木に込めて記念日のお祝いに記念樹を育ててみませんか。希望される対象の方は、無料で苗木がもらえます。

- ①出生 ②保育園・幼稚園 ③小学校入学 ④成人 ⑤結婚
- ⑥銅婚(7年)銀婚(25年)金婚(50年) ⑦賀寿:還暦(60歳)

- 古希(70歳)喜寿(77歳)
- 米寿(88歳)卒寿(90歳)
- 白寿(99歳) ⑧新市民(市外からの転入者) ⑨住宅の新築

※区役所に申込用紙があります

**申込先**

〒211-0052 川崎市中区等々力3-12 (公財)川崎市公園緑地協会

**問い合わせ**

☎711-6631



**多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)を視察**

公明党川崎市議団は、7月6日に橋梁名称が決まった多摩川スカイブリッジを現地調査。川崎市殿町地区と羽田空港跡地地区を結ぶ延長約840mの道路で、令和3年度末の開通を目指します。今後、本市キングスカイフロントをはじめとする国家戦略特区と羽田空港等を結ぶ重要な交通インフラとして大きな役割を果たして行くものと大いに期待したいと思っております!



**山田はるひこの晴ればれ市民相談 お気軽にご相談ください!**

TEL 044(788)1858 FAX 044(788)2695



Q- 山田はるひこ 検索